



2007年度中間決算説明会
中間決算概要と年間業績予想



代表取締役専務執行役員 廣瀬 博

2007年11月

2007年度中間期の業績

【連結】	2006年度中間期	2007年度中間期	前年同期比
売上高	8,546億円	9,318億円	+9.0%
営業利益	682億円	483億円	▲29.2%
経常利益	759億円	576億円	▲24.1%
純利益	533億円	265億円	▲50.3%
ナフサ価格	51,500円/kl		
為替	115.38円/ドル		

2007年度中間期の業績

【連結】	当初予想	2007年度中間期	達成率
売上高	9,200億円	9,318億円	101%
営業利益	470億円	483億円	103%
経常利益	500億円	576億円	115%
純利益	250億円	265億円	106%
ナフサ価格	56,000円/kl		
為替	115.00円/ドル		

2007年度年間業績見通し

【連結】	当初予想	見直し予想
売上高	1兆9,100億円	1兆9,400億円
営業利益	1,300億円	1,200億円
経常利益	1,300億円	1,250億円
純利益	700億円	700億円
ナフサ価格	56,000円/kl	62,000円/kl
為替	115.00円/ドル	115.00円/ドル

部門別売上高・営業利益

(単位:億円)

		当初予想	見直し予想	当初予想比	主な営業利益増減要因
基礎化学	売上高	3,100		%	
	営業利益	180		%	
石油化学	売上高	5,800		%	
	営業利益	110		%	
精密化学	売上高	900		%	
	営業利益	120		%	
情報電子化学	売上高	3,350		%	
	営業利益	160		%	
農業化学	売上高	2,000		%	
	営業利益	190		%	
医薬品	売上高	2,450		%	
	営業利益	510		%	

グローバルカンパニーとしてのさらなる飛躍

2007-2009年度
高収益体質の確立と持続する成長の実現

2004-2006年度
事業規模拡大と利益成長

2001-2003年度
成長基盤確立

新たな成長軌道を
目指して

真のグローバルケミカル
カンパニーを目指して

グローバルカンパニー
としてのさらなる飛躍



SUMITOMO CHEMICAL

注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。